

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ピムコ世界金融ハイブリッド証券戦略ファンド（毎月決算型・通貨プレミアム）」は、2016年8月17日に第5期決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラス」（C-U S D）（バミューダ籍・円建て）」への投資を通じて、主に世界の金融機関が発行するC o C o債等のハイブリッド証券に投資することで、安定した利子収入の獲得と信託財産の成長を図ることをめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第5期末(2016年8月17日)

基準価額	10,033円
純資産総額	2,297百万円
第1期～第5期	
騰落率	2.9%
分配金(税込み)合計	250円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」 ⇒ 「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

ピムコ世界金融 ハイブリッド証券戦略ファンド (毎月決算型・通貨プレミアム)

追加型／内外／その他資産（ハイブリッド証券）

交付運用報告書

第1作成期

第1期(決算日2016年4月18日) 第2期(決算日2016年5月17日)

第3期(決算日2016年6月17日) 第4期(決算日2016年7月19日)

第5期(決算日2016年8月17日)

作成対象期間(2016年2月26日～2016年8月17日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

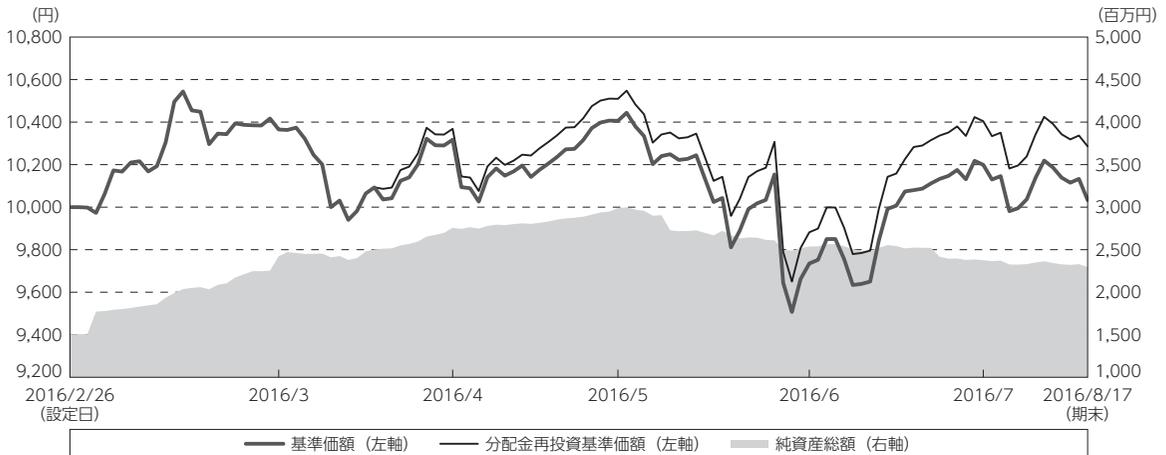
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2016年2月26日～2016年8月17日)



設定日：10,000円

第5期末：10,033円 (既払分配金(税込み)：250円)

騰落率：2.9% (分配金再投資ベース)

(注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に幅広く分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの分配金再投資基準価額は、投資家のリスク回避姿勢の後退を受けてCoCo債などのハイブリッド証券価格の反発が基準価額の上昇に寄与した一方、為替の円高進行は基準価額の下落要因となりました。

4月以降は日銀の追加緩和見送りや米利上げ観測の後退などから、1ドル＝110円割れの水準まで急速に円高が進みましたが、ハイブリッド証券価格が比較的堅調に推移したことにより、当ファンドの分配金再投資基準価額は緩やかに上昇し、6月1日には当期の最高値である10,548円を付けました。しかし、同月24日(日本時間)に行われた英国の国民投票により、欧州連合(EU)からの離脱が決定されるとハイブリッド証券価格が急落しました。併せて急速な円高が進行したことにより、当ファンドの分配金再投資基準価額も下落し、6月28日には当期の最安値である9,650円を付けました。

その後は、ハイブリッド証券価格の反発や為替が円安に振れたことなどにより、当ファンドの分配金再投資基準価額は緩やかに上昇しました。当期末の分配金再投資基準価額は期を通じて+2.9%上昇の10,286円となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2016年2月26日～2016年8月17日)

項 目	第1期～第5期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	96	0.942	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(58)	(0.570)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.359)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.062	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(5)	(0.053)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	102	1.004	
作成期中の平均基準価額は、10,170円です。			

- (注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示しております。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年8月17日～2016年8月17日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2016年2月26日から2016年8月17日)のみの記載となっております。

	2016年2月26日 設定日	2016年8月17日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,033
期間分配金合計(税込み) (円)	—	250
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.9
純資産総額 (百万円)	1,506	2,297

- (注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に幅広く分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
 (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2016年8月17日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2016年2月26日～2016年8月17日)

※以下のコメントは、ピムコ社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

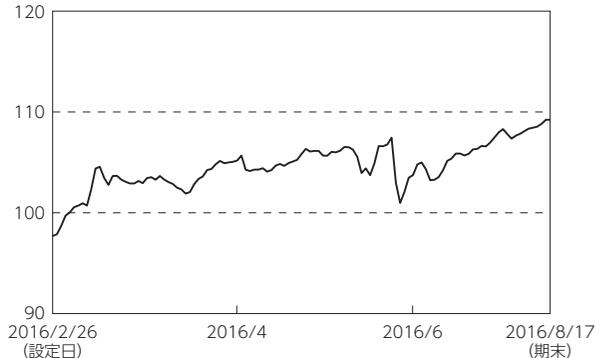
【CoCo債市況】

期を通じてみると、金融ハイブリッド証券市場は上昇しました。

期首は市場予想を上回る良好な米経済指標を背景に投資家のリスク回避姿勢が和らぐなか、金融ハイブリッド証券市場は上昇しました。また、欧州中央銀行（ECB）がマイナス金利幅を拡大した一方で、ドラギ総裁より今後の利下げに対して慎重な姿勢が示されたことも金融機関にとってプラス材料となりました。

期の半ばには英国国民投票でEU離脱派が勝利したことを受け、欧州の金融機関の先行きに対する不安が強まり金融ハイブリッド証券市場は大幅に下落したものの、その後は同国において新政権へ移行が市場予想よりも速やかに行われたことから投資家のリスク許容度が回復し、金融ハイブリッド証券市場は上昇しました。

【CoCo債指数の推移】



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
 (注) CoCo債指数はBofAメリルリンチ・コンティンジェント・キャピタル・インデックスを使用

【為替市況】

期を通じてみると、円はドルに対して上昇しました。

期首は米連邦公開市場委員会（FOMC）にて年内の利上げ見通しが下方修正されたことや4月の日銀による金融政策決定会合にて金融政策の現状維持が決定されたことを受けて、日米金利差が縮小するなか、円高ドル安が進行しました。

期の半ばには英国の国民投票にてEU離脱派が過半数を獲得したことにより世界的にリスクオフの展開となり、円高が進行しました。その後、日銀による利下げや国債買入増額といった追加緩和策が予想されていたものの、上場投資信託（ETF）買入枠拡大といった小幅なものに留まったことから、円高基調が継続し期末を迎えました。

【為替レートの推移】



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

当ファンドのポートフォリオ

(2016年2月26日～2016年8月17日)

<当ファンド>

「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て)」への投資を通じて、主に世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に幅広く分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

<ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て) >

金融機関が発行するCoCo債(偶発転換証券)等のハイブリッド証券を主要投資対象とし、金利収入の確保と信託財産の中長期的な成長をめざしました。また、米ドル(対円)のカバードコール戦略を行い、オプション料(プレミアム)の追加的な収益の獲得をめざして運用いたしました。

なお、直近7月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

ポートフォリオ構成

平均格付け	B B B -
平均デュレーション	4.52年
平均最終利回り	7.14%
平均クーポン	6.28%
平均直利	6.00%
銘柄数	139銘柄
プレミアム	21.01%

- (注1) 平均格付とは、基準日時点での組入投資信託証券にかかる信用格付を加重平均したものです。そのため、当ファンドにかかる格付ではありません。
- (注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標です。金利変動に対する債券価格の反応度(リスクの大きさ)を表しています。なお、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。
- (注3) 最終利回りは、債券購入日から償還日までに得る受取利息や償還差損益(額面と購入価額の差)等、合計額が投資元本に対して1年あたりどの程度となるかを示すものです。
- (注4) クーポンは額面金額に対する半年での利息の割合を表します。
- (注5) 平均直利は平均時価単価に対する平均クーポンの割合です。
- (注6) プレミアムは対純資産の年率調整後のオプションプレミアム収入です。

債券種別構成

CoCo債	64.5%
優先証券	9.2%
劣後債	14.7%
金融シニア債	3.1%
株式	2.1%
その他債券	-6.2%
その他	12.6%

- (注1) 比率は純資産総額に対する割合です。
- (注2) CoCo債にはパーゼルⅢ対応型劣後債を含みます。

格付け分布

A A A 格	10.4%
A A 格	0.0%
A 格	1.4%
B B B 格	39.3%
B B 格	38.5%
B 格以下	10.5%

- (注1) 比率は純資産総額に対する割合です。
- (注2) ピムコによる社内格付を含みます。

国・地域別構成

イギリス	28.2%
フランス	17.9%
スイス	12.4%
スペイン	11.0%
オランダ	9.3%
その他	21.2%

- (注1) 比率は純資産総額に対する割合です。
- (注2) 国・地域はピムコの分類によるものです。

※上表については、ピムコ(PIMCO: パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー)の資料を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

<FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)>

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組入れ、これを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年2月26日～2016年8月17日)

当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に幅広く分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2016年2月26日～2016年8月17日)

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向等を勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	2016年2月26日～ 2016年4月18日	2016年4月19日～ 2016年5月17日	2016年5月18日～ 2016年6月17日	2016年6月18日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月17日
当期分配金	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	0.496%	0.491%	0.507%	0.494%	0.496%
当期の収益	50	50	50	50	50
当期の収益以外	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	361	521	682	854	1,025

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、主として「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラス」(C-USD)(バミューダ籍・円建て)への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に幅広く分散投資を行い、安定した利子収入の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。

<ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドCークラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て) >

当該外国投資信託を運用している、ピムコ社(PIMCO = Pacific Investment Management Company LLC)は、以下のようにコメントをしています。

足元では、イギリスのEU離脱の動向をめぐり神経質な展開が継続すると予想されます。しかし、2012年の欧州債務危機におけるギリシャのケースと異なり、仮にイギリスがEUを離脱したとしても、通貨はポンドのままであり、政府や金融機関のデフォルトを直接的に引き起こすとは予想されておらず、欧州債務危機のような信用危機の状況ではないと考えます。また、金融危機以降の不良債権処理が遅れているイタリアの金融機関に対する懸念が高まっていますが、欧州のコア国の多くの不良債権処理は進んでおり、この問題はイタリアの銀行にとどまる問題と考えられます。なおイタリアの組入比率は0.1%と極めて限定的です。

世界的な長期国債の利回り低下を背景に、金融機関の収益性に対する懸念が再燃していますが、金融機関の健全性は引き続き高いと考えています。第1に、欧米の金融機関は金融危機以降、自己資本比率を危機前の2倍近く引き上げています。第2に、金融機関は自己勘定取引のサイズを危機前の半分以下にしており、リーマン・ショック時のような大幅な損失を出したくても出せない状況です。第3に、欧米金融機関の融資は、金融危機以降伸びておらず、大幅な不良債権の増加は、イタリアのようなケースを除いて考えづらい状況です。また、3月に発表された欧州中央銀行の追加緩和策が、欧州金融機関の資金繰りをサポートするほか、社債の買い取り策もハイブリッド証券市場の需給にとってプラスに寄すると予想されます。

従って、足元イギリスのEU離脱問題を受けて調整し、利回りが上がってきていることから、金融ハイブリッド証券市場は魅力的な投資機会が提供していると見ています。また、世界の株式市場が乱高下する中、キャピタルゲインとインカムゲインのバランスを再考する上で、6%を上回る利回りをもたらす金融ハイブリッド証券の魅力は相対的に高まっているといえます。

金融ハイブリッド証券運用にあたっては、各国で金融規制の導入の仕方にばらつきがあることに加え、金融機関においてもビジネスモデルや保有資産、資本水準などが大きく異なることから、発行体選択や銘柄選択を重視しています。

具体的には、EU離脱問題を受けて調整しているものの、引き続き財務の健全性が高いイギリスなどの金融機関等へは投資的に投資する一方で、依然として不良債権問題が遅れるイタリアや従来型のビジネスモデルに注力し続ける金融機関への投資を控えます。

<FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行います。

お知らせ

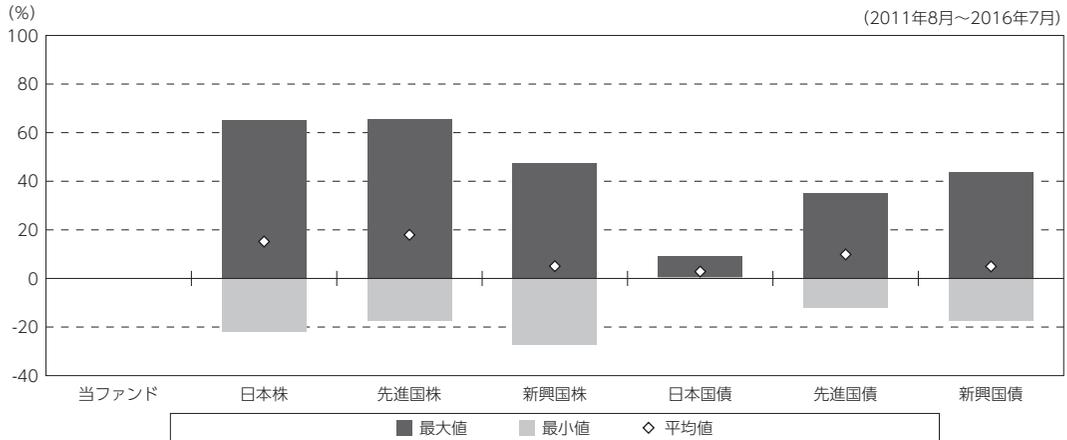
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型／内外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	平成38年2月17日まで（設定日：平成28年2月26日）
運用方針	安定的な配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託である「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラス」(C-US D) (バミューダ籍・円建て)」および国内の証券投資信託である「F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として外国投資信託である「ピムコ バミューダ キャピタル セキュリティーズ ファンドC-クラス」(C-US D) (バミューダ籍・円建て)」への投資を通じ、世界の金融機関が発行するC o C o債等のハイブリッド証券等に投資するとともに、円に対する米ドルのコール・オプションを売却し、オプションプレミアム収入の獲得を目指すカバードコール戦略を活用し、安定的な配当収入の確保をめざします。
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配対象額については委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	-	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	0.4	△ 12.3	△ 17.4
平均値	-	15.2	18.0	5.0	2.8	9.9	4.9

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2011年8月から2016年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため掲載しておりません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年8月17日現在)

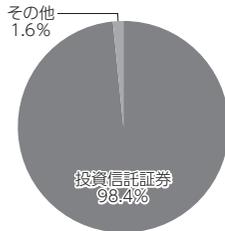
○組入上位ファンド

銘柄名	第5期末
	%
ピムコバミューダキャピタルセキュリティーズファンドC-クラスJ(C-USD)(バミューダ籍円建て)	98.4
F O F s 用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

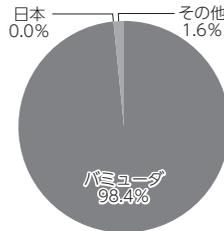
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

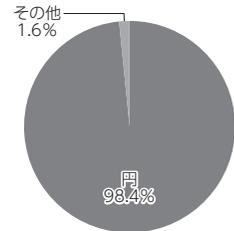
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第1期末	第2期末	第3期末	第4期末	第5期末
	2016年4月18日	2016年5月17日	2016年6月17日	2016年7月19日	2016年8月17日
純資産総額	2,511,660,889円	2,803,748,502円	2,669,448,125円	2,524,495,456円	2,297,053,225円
受益権総口数	2,502,624,733口	2,764,408,880口	2,720,925,996口	2,504,375,553口	2,289,522,291口
1万口当たり基準価額	10,036円	10,142円	9,811円	10,080円	10,033円

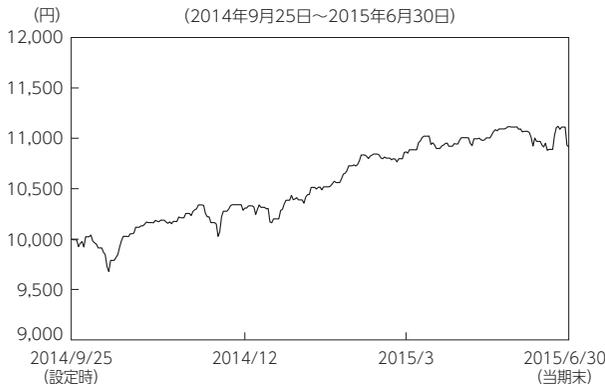
(注) 作成期中における追加設定元本額は1,949,924,947円、同解約元本額は1,166,448,883円です。

組入上位ファンドの概要

ピムコバミューダキャピタルセキュリティーズファンドC-クラスJ (C-USD) (バミューダ籍・円建て)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【分配金再投資基準価額の推移 (設定来)】



【1万円当たりの費用明細】

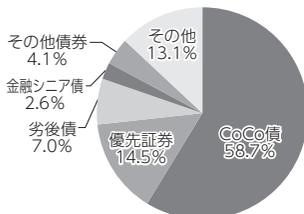
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

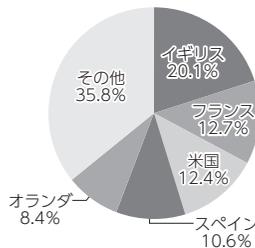
(2015年6月30日現在)

順位	銘柄名	国 / 地域	比率
1	ロイズバンキンググループ	イギリス	3.4%
2	サンタンデール銀行	スペイン	3.1%
3	ラボバンク	オランダ	2.5%
4	BPNパリバ	フランス	2.5%
5	ラボバンク	オランダ	2.4%
6	ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行	スペイン	2.3%
7	ポプラーレ・エスパニョル銀行	スペイン	2.3%
8	KBC銀行	ベルギー	2.3%
9	ダンスケ銀行	デンマーク	2.1%
10	クレディ・アグリコル	フランス	2.1%
組入銘柄数		142銘柄	

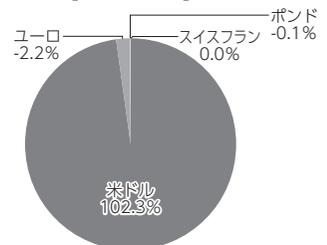
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2015年6月30日現在のものです。

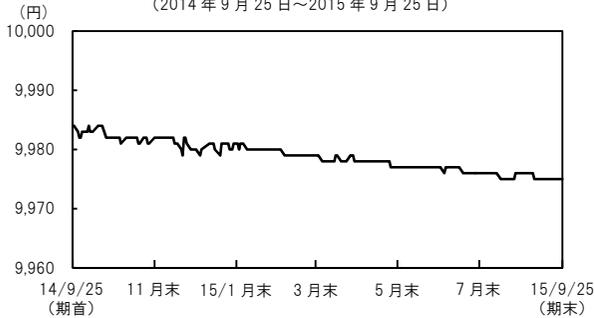
(注2) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分の比率は投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】

(2014年9月25日～2015年9月25日)



【1万口当たりの費用明細】

(2014年9月25日～2015年9月25日)

項目	円
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	14 (11) (1) (2)
(b) 保管費用等	0
合計	14

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2015年9月25日現在)

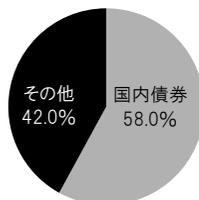
銘柄名	国/地域	比率(%)
第2回政府保証東日本高速道路債券	日本	12.2
第856回政府保証公営企業債券	日本	7.2
第865回政府保証公営企業債券	日本	3.8
第2回政府保証中日本高速道路債券	日本	3.6
第1回政府保証日本高速道路保有・債務返済	日本	3.0
第187回政府保証中小企業債券	日本	2.8
第16回政府保証日本高速道路保有・債務返	日本	2.7
第11回政府保証日本政策投資銀行債券	日本	2.7
第1回政府保証東日本高速道路債券	日本	2.7
第866回政府保証公営企業債券	日本	2.3
組入銘柄数	21銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

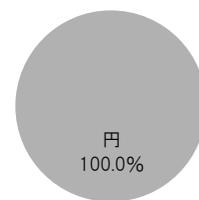
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2015年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。